

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

6

Jun 2019
Vol.289

【ときめき人】

植正 まさとしさん

【特集】

ずっと、この場所で

【今月の表紙】

平成最後のとよま人力車

(関連記事 11 ページ)



【特集】

ずっと、この場所で

高齢患者や、生活習慣病による患者の増加などで、これからますます高まる医療への需要。そして、病院ではなく自宅で医療を受け、療養しながら最期を迎えたいという人が多くいます。

「ずっと、自分らしくこの場所で」——。その要望に応えるのが「在宅医療」。安心して自宅などでの療養生活を可能にするため、医療・介護の職種間連携や療養者を支援する取り組みが進められています。

自分らしく暮らしたい 在宅での療養生活を支援

住み慣れた場所で療養 求められる在宅医療

今後、著しく高齢化が進み、市内の75歳以上の割合が2015年の17.9%に対して、40年には27.3%まで上昇すると予想されています。また、若くても生活習慣病や事故などで寝たきりになってしまふ場合もあり、医療への需要は高くなっています。

そのような状況の中、注目されているのが、自宅などの生活の場に、医師や看護師などが定期的な訪問し、診察や治療などをする在宅医療。健康状態の悪化などの理由で通院できなくなった場合や人生の終末期を、住み慣れた自宅や地域で過ごしたいという人が増え、在宅医療が求められています。

かかりつけ医との信頼関係を

より良い医療を受けるためには、そのときだけ大きな病院に行



市民病院1階にある患者相談窓口では、社会福祉士などの専門職が随時相談に対応

米谷病院、豊里病院に 地域医療連携室を新設

けばいいというわけではありません。まずは、かかりつけの医師を持ち、信頼関係を構築することが大切。日々の診療や投薬の記録があることで、一人一人の体質や過去の病気、薬の副作用などを知ってもらうことができます。在宅医療を希望する場合にも相談に乗ってくれるはずですよ。

市民病院を退院した後に、通院することが困難な場合など、退院後の生活に不安を抱える人を支援するため、03年4月に市民病院内

に地域医療連携室を設置。患者相談窓口では、予約不要で相談することができ、在宅医療を希望する場合は、対応可能な医療機関を紹介しています。

今年の4月からは、米谷病院と豊里病院にも社会福祉士（ソーシャルワーカー）を配置し、退院後も、安心して療養生活を送ることができるよう、相談体制を強化しました。

一人一人に寄り添い 少しでも希望をかなえたい

登米市民病院の高橋地域医療連携推進専門監は「退院後、住み慣れた場所で過ごしたいという人は増えていますが、患者さんは、退院するときに食事や生活環境など、少なからず不安を抱えています。そして、患者さんの家族にとっては、介護などの悩みがあることも事実です。在宅医療は、医師をはじめ、さまざまな専門職の協力が必要で



市民病院地域医療連携室
高橋 直子 専門監

ですが、何よりも家族の協力が不可欠です。私たちは、一人一人に寄り添って不安を解消しながら、本人や家族の希望をかなえる手助けをしていきたいと考えています」と話します。

地域の医療機関と連携した 救急医療体制の構築

在宅医療で心配になるのが、緊急時の対応です。市民病院では、昨年5月から在宅医療に取り組む医療機関と緊急時に連携する「在宅療養後方支援制度」を導入。在宅医療を受けている患者が、医療機関を通して市民病院に届出すると、緊急時などに市民病院が24時間体制で対応します。事前に患者の情報を共有するため、より適切な治療を受けることができます。

安心して自宅で医療を受けながら生活できるように、地域の医療機関と市民病院との連携強化が進められています。

希望をかなえる在宅医療

住み慣れた場所で暮らしたいという希望をかなえるため、市内の在宅医療を支えているのが田上佑輔医師です。田上医師が目指す在宅医療について話を聞きました。



1 聴診器、血圧計や注射器などの医療器具を車に積み込む 2 心電図や超音波検査も自宅に対応可能 3 医師、看護師、アシスタントの3人で患者の待つ自宅に向かう 4 医師からの指示を受け、電子カルテを入力する 5 通常はカフェとして営業しているcoFFee doctors (迫町佐沼中江3丁目8番地1) 6 さまざまなテーマで月に1回程度開催される市民講座には、毎回多くの市民が参加している

大切にしていることは患者と家族の思い

「最初に、患者さんや家族の希望、思いを聞いて、どういう医療が望ましいかを考えることから始まります。患者さんがやりたいことや、これからどう過ごしたいかという思いを大切にし、家族の不安や健康状態の相談に乗っています。」

そう話すのは、現在市内で約360人の患者を在宅で診療している、やまと在宅診療所登米の院長、田上医師です。在宅専門の診療所にした理由について「以前は、東京大学附属病院でがんの治療をしていましたが、患者さんが退院した後も、ずっと診てあげたいと思うようになったんです。そして、地方でも都市部と同じような在宅医療を受けられるような環境をつくりたいと考えました」と診療所の開設に込めた思いを話します。

に少なくなると思います。いたとしても、その医師がいなくなった場合は、次の医師が来るまで住民はすごく不安になります。これからは、そうならないための仕組みが必要で」と、移住せずに医師が都市部と循環することで、医師不足の解消を目指しました。

コンセプトはオープンメディカルコミュニティ

田上医師がコンセプトに掲げているのが「オープンメディカルコミュニティ」という考え方です。「これからは、自分の終わり方を考える時代になり、最期まで自分らしく生活したいという人が増えます。その要望に応えていくためには、医者だけでなく患者を中心に、家族、看護師、薬剤師、栄養士、介護



やまと在宅診療所登米院長 田上 佑輔さん(39)

1980年、熊本県生まれ。05年東京大学医学部卒。東京大学附属病院腫瘍外科勤務を経て、東日本大震災がきっかけで13年にやまと在宅診療所を開設。現在は、東京、神奈川と宮城で在宅診療を展開している。

「都市部では、がんなどの重症患者でも在宅医療が受けられ、緊急時の対応も可能です。市内の診療所の多くは、医師が一人で診療するので、緊急時の対応などは難しい環境にあります。都市部のような在宅医療を提供するためには、チームで対応しなければなりません」と連携体制を構築しました。

24時間365日対応

現在、やまと在宅診療所登米には約30人の医師が勤務。24時間365日、いつでも対応できる体制になっています。田上医師が目指したのは、都市部と登米市で医師が行き来し、長期的に継続して在宅医療を提供するシステム。「地域医療に興味がある若い医師はたくさんいますが、地方に移住してずっと居続けるといふ医師はさら

職、行政など、みんながチームとして関わるのが大切。そして地域の人たちも関わり、互いに手助けや見守りをするのが、在宅医療を支えることになるのです」と地域内の関係が重要だと訴えます。地域住民も含めたチームとしての在宅医療を確立するために、地域住民が医療や介護について話し合える場所が必要だと感じた田上医師は、コミュニティカフェ「coFFee doctors」をオープン。定期的に専門職の勉強会や市民講座を開催しています。「登米市民は、医療に関して課題意識は高いと感じますが、主体的に参加して良くしようとする意識はまだ低いと思います。学びの場を提供することで、地域住民と一緒に登米市の医療を考えていきたい」と将来を見つめています。



Interview



頓所 啓子さん(72)
(迫町西表)

たくさんの人に支えられ 本人が希望する生活が実現

22年前に息子の智也が脳内出血で寝たきりの状態になり、約1年前から在宅医療を受け、自宅で生活しています。

施設に入所させようとも思いましたが、若かったので介護保険の対象にならないことや、身体障がいがあったため、当時は受け入れてくれる施設がありませんでした。障がい重いという理由で受け入れを拒否されたこともあり、すごく苦労しました。今では、デイサービスやショートステイが利用できるようになったので、とても助かっています。

それでも、通院するのは大変でした。車に乗せるときに息子の体

重を支えられなくなってきましたし、何より本人が自宅での療養を望んでいたため、やまと在宅診療所登米に相談しました。何かあれば24時間電話で対応してもらえるので、安心して生活することができます。

自宅での療養は、家族の負担もありますが、デイサービスやショートステイなどを利用することによって、自分の時間もつくれますし、負担は少なくなります。本人が望む自宅での療養を支えていただいている皆さんに感謝しています。在宅医療を希望する人は、悩まずに相談することが大切だと思います。



2



1

1 目は見えないが、耳が聞こえるため、手を握りながら、いろいろなことを話し掛ける。2 「スポーツが好きだった息子に、いつでもボールを使って運動させてあげられるのも自宅だからできる」と話す啓子さん

生活を支える さまざまな専門職

今後、さらに需要が増えると予測されている在宅医療。その療養生活を可能にするためには医師の力だけでは実現できません。さまざまな専門職の人たちが連携して支えています。



ミリオン薬局薬剤師
熊坂 勇宏さん(36)

普段の生活に埋もれている
困りごとを解決してあげたい

在宅医療を受け、自宅などでの療養を可能にするためには、医師の力だけでは実現できません。歯科医、薬剤師、看護師、管理栄養士などの医療職のほか、ケアマネジャーやホームヘルパーなど、さまざまな人たちによって支えられています。

ミリオン薬局に勤務している薬剤師の熊坂さんは、患者の自宅に訪問して薬を処方する「訪問薬剤管理指導」をしています。目指しているのは、患者と近い距離で、小さなことにも気付けてあげられる薬剤師。熊坂さんは「体調が悪かったり、病気の症状は医師に伝えますが、本人が気付いていないだけで、夜に眠れないとか、便が硬いとか、食欲がないなど、日常に埋もれている症状もあります。それを会話の中から見つけてあげて、困ったときにはすぐに相談できるように



健康状態を確認する熊坂さん

してあげたかった」と24時間電話で相談できるようにしました。訪問薬剤管理指導では、薬の飲み残しも確認します。「薬を飲み残すのには理由があります。患者さんの生活スタイルや健康状態によって、主治医と相談しながら薬の量を減らしたり、飲みやすくする方法を考えたりしています」と健康状態に気を配ります。熊坂さんが、これから取り組みたいと思っているのが医療教育です。「これからは、多職種が連携して医療や介護をする、地域包括ケアが大切だといわれていますが、学ぶ機会がないと感じています。そのため、実際に在宅医療を受けている家庭で、見学や実習をしながら学ぶ教育プログラムを組みたいと考えています。患者さんとその家族に理解と協力をいただきながら、地域全体で次世代の医療者を育てられるようなまことにしていきたいです」と協力を求め、前を向いて歩みを進めます。



Interview

ヘルパーステーションあおぞら
ホームヘルパー

阿部 利津子さん(60)

食事の用意や掃除などの生活援助と、入浴や排せつ介助などの身体介護をします。介護サービスを利用している人たちが、自分でできるようになることを目指した自立支援型の介護をしています。

介護するだけでなく、よく話を聞いて精神面のサポートもしています。



Interview

登米市社協石越居宅介護支援事業所
ケアマネジャー

田口 信宏さん(37)

介護認定を受けた人たちが、どういう生活を送りたいのかを相談しながら介護の計画を立て、不安や悩みなどがなくなかを定期的に確認します。

不安や悩みはその時々で変わります。安心して生活してもらえるように、介護事業者だけでなく、医師や各専門職との調整役をしています。

Interview

やまと在宅診療所登米
訪問看護師

園田 光さん(38)



訪問看護師は、医師の指示による体調の確認や採血などの医療行為はもちろんですが、入浴や排せつの手助けをすることもあります。

家族構成や家庭環境などが違うので、患者さんの要望や家族の負担も考えながら、一人一人に寄り添った看護を心掛けています。



在宅療養を支える専門職

安心して暮らす そのためにできること

在宅医療、そして療養生活を支えるさまざまな専門職。その患者に最適な医療や介護をするためには、患者の症状や健康状態などの情報を共有することが鍵になります。登米市医師会では、情報を共有し、よりよい在宅医療を提供するための取り組みを進めています。

より詳細な情報を共有 そのためのツールが必要

自宅で生活する場合は、多職種の人たちが別々に訪問するため、情報の共有が不可欠です。そこで、登米市医師会では平成29年度から「みまもりファイル」の作成に着手。今年から導入しました。

米川診療所院長の木村医師は「患者さん一人一人に、より適した診療をするためには、より詳細に、より確実に情報を把握し、共有するツールが必要でした」と導入の理由を話します。

みまもりファイルには、もう一つの目的があると木村医師は話します。「患者さんが自分の最期をどうしたいかの意思確認をする役割もあります。これまでは意思確認できないことが多く、本人が望まない延命治療をし続ける場合もありました。患者さんとその家族が



米川診療所院長
登米市医師会病診連携委員長
木村 康一さん(63)

望むかたちで最期を迎えさせてあげたい」と思いを込めます。

患者の情報を蓄積 緊急時の対応もスムーズに

みまもりファイルは、自宅での状況はもちろん、デイサービスやショートステイを利用する場合も持参し、心身の状態など、気になったことを細かく記載。健康状態の変化をみんなで確認し合います。

本格導入に向け、昨年試験的に導入したのが、登米町にある小出医院です。院長の小出医師は「今までも、何かあれば連絡をもらい、その都度対応していましたが、その経過を各専門職の人たちで共有できていませんでした。このファイルがあることで、部屋の温度が低くなっていたとか、霜焼けができていたなど、生活面の情報も共有できるようになりました。また、緊



緊急時などは主治医以外の医師でも、すぐに患者の症状や延命治療の希望などを把握できる

急入院する場合には、症状や経過などが正確に入院先の病院に伝わり、より早く、より適した治療ができるようになります」と、緊急時にこそ効果を発揮すると話します。「そのときはいつ訪れるかわかりません。安心して暮らし続けるためには、自分のことを理解し、信頼できるかかりつけ医を見つけること。そして、どこでどう生活したかを、今のうちから家族で話し合い、意思表示しておくことが大切です」と呼び掛けます。



小出医院院長
小出 佳代子さん(49)

自分らしく、 この場所で――

頓所智也さんは、話すことはできませんが、啓子さんが病院ではなく、家にいたいかと聞くと、迷わず首を縦に振ります。

自分らしく、住み慣れた場所で生活するため、さまざまな取り組みが進められています。私たちが自身も当事者となり、考えていかなければなりません。

まずは、困ったときに相談できるかかりつけ医を持つこと。そして、何より私たち自身が在宅医療を支えるチームの一員となるために学び、助け合い、見守りできる関係を構築していくことが大切です。

どのように生活し、どこで最期を迎えたいかを家族や地域で話し合い、考える。それが、自分らしく安心して暮らせる場所へつながる道になるはず。



漫画で謎解きに挑戦

石ノ森記念館で60回企画展

第60回特別企画展「サイボーグ009ナゾトキミュージアム」が、4月27日から8月25日まで石ノ森章太郎ふるさと記念館で開かれています。

企画展は、石ノ森章太郎の代表作「サイボーグ009」が連載開始から55年を迎えたことを記念して開催。カラーイラストや名場面などの展示物をヒントに謎を解き、隠された暗号を見つけます。オープン初日に訪れた加藤進太郎さん(55)＝石巻市＝は「特別企画展のたびに来ていますが、今回の企画展の謎解きは難しかったです。子どもたちのような柔軟な発想が必要ですね」と苦笑いしながらも企画展を楽しんでいました。



会場いっぱい展示されたイラストや、魅力的なキャラクターのオブジェクトが謎解きの手助けをしてくれます。

古里の森林を未来へ

環境教育で環境大臣表彰

平成31年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰(自然ふれあい部門)を受賞した遠藤克美さん(59)＝東和町米川2区＝が4月19日、市役所庁舎を訪れ、熊谷盛廣市長に受賞の喜びを報告しました。

米川生産森林組合に勤務する遠藤さんは、長年にわたり森林整備体験の開催や小学生の体験学習として、マイタケの生産を指導。地域の緑化や環境教育に尽力してきました。遠藤さんは「今まで続けることができたのは、参加者の皆さんや米川小学校の協力があったからこそ。これからもできる限り続けていきたい」と気持ちを新たにしていました。



平成27年度には、宮城県緑化功労者としても表彰された遠藤さん(左)。森林の大切さを伝える取り組みを続けています。

押さば押せと力強く

米山郷土で丸山相撲大会

「第11回東北高等学校丸山相撲大会」(登米市米山相撲協会主催、千葉敏彦会長)は4月28日、道の駅米山にある登米相撲場で開かれ、県内外から集まった高校生力士が体当たりの熱戦を繰り広げました。

米山町は、江戸時代の大横綱、丸山権太左衛門の生まれた地。威風堂々と会場入りした選手たちは、頭からぶつかりあい、積み上げた稽古の成果を発揮しました。観戦していた佐藤誠悟さん(70)＝南方町原＝は「若い選手の出組は、見ていて気持ちがいいですね。近い将来、この中から横綱になる力士が出てくることを楽しみにしています」と選手たちの活躍を期待していました。



押さば押せ、引かば押せと、各取組で熱戦を展開。全身全霊を込め、ひたむきに押し続ける選手たちの汗は、光輝いていました。

伝統野菜は地域の宝

幻の観音寺セリを後世へ

「観音寺セリ栽培講習会」は4月21日、迫町北方南観音寺地区で開かれ、参加者8人がセリの苗植え作業を学びました。

観音寺セリは、地域で受け継がれてきた「地ゼリ」。栽培技術の継承と生産者の思いや食文化に触れ、価値を再認識してもらうことで、後継者の確保やセリ種の保存につなげようと講習会を開催しました。参加した鹿野大河さん(21)＝迫町山の上＝は「観音寺セリの生産量が減っていると聞き、自分も何かできないかと参加しました。慣れない作業で疲れましたが、伝統野菜は絶やさないようにしたいですね」と話していました。



観音寺セリは、弘法大師から授けられたと伝えられている井戸水の「弘法水」を利用して栽培し、「幻のセリ」ともいわれています。

みやぎの明治村巡る

登米町内を人力車が運行

明治村を人力車で巡る「平成最後のとよま人力車」(みやぎ北上商工会青年部登米支部主催、渡邊慎伍支部長)が4月28、29の両日、登米町内で催されました。

人力車の運行は、みやぎの明治村の魅力をより感じてもらいたいと、同支部が企画。水沢県庁記念館前を発着場所として、警察資料館(旧登米警察署庁舎)と登米町伝統芸能伝承館「森舞台」までの2つのコースを運行しました。人力車に乗った田辺保晴さん(46)＝東京都練馬区＝は「歩きながら見るよりも風情があって、蔵造りの町並みがより魅力的に感じました」と笑顔で話していました。



29日には「とよま茶会」も開かれ、訪れた観光客はロマン漂う明治村の雰囲気を満喫していました。

春の訪れにほっこり

米山チューリップまつり

「米山チューリップまつり」が4月21日から5月5日まで、道の駅米山の西隣で開かれ、大勢の家族連れなどでにぎわいました。

敷地1㍍の会場には、姉妹都市の富山県入善町などから買い付けて育てた約60品種、10万株のチューリップが咲き誇りました。来場者は、色鮮やかな風景を楽しみながら、買い物かごを手に好みのチューリップを選別。掘り起こした株を買い求めていました。佐々木奈央子さん(28)＝南方町北本郷＝は「娘と来ました。たくさんのチューリップを眺めていると楽しくて、気持ちが癒されますね」と春の訪れにほっこりしていました。



赤、白、黄色やピンクなど、さまざまな種類のチューリップが満開に。来場者は写真を撮影しながら、散策を楽しみました。

Information 03

市職員募集

私たちと一緒にこのまちのために



試験区分	職種	採用予定人員	受験資格
上級 (大学卒業程度)	行政	8人程度	昭和59年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人
	保健師	2人程度	昭和59年4月2日以降生まれで、保健師の資格を持つ人(令和2年4月30日までに取得見込みも含む)
	管理栄養士	1人程度	昭和59年4月2日以降生まれで、管理栄養士の資格を持つ人(令和2年4月30日までに取得見込みも含む)
	社会福祉士	1人程度	昭和59年4月2日以降生まれで、社会福祉士の資格を持つ人(令和2年4月30日までに取得見込みも含む)
中級 (短期大学卒業程度)	幼稚園教諭または保育士	1人程度	昭和63年4月2日以降生まれで、幼稚園教諭と保育士の両方の資格を持つ人(令和2年3月31日までに取得見込みも含む)
	土木	1人程度	昭和59年4月2日以降生まれで、土木施工管理技士または測量士の資格を持つ人(受験申込時点で資格を有する人)

※採用予定人員は、現時点での予定で今後変更することがあります
 ※初級(高校卒業程度)は、7月以降に募集する予定です
 ※採用は、令和2年4月1日の予定です

■受験申し込み 申込書と試験実施要綱は、平日の午前8時30分から午後5時15分まで総務部人事課または各総合支所窓口で、6月3日(月)から配布するほか、市公式ホームページからダウンロードできます。ダウンロードできないなどの理由で、郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用統一試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)および連絡先(電話番号)を明記した任意の用紙を必ず同封してください。

■受付期間 6月3日(月)~20日(木)
 ※申込受付は平日の午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は受付期間中の消印のものに限ります

■試験日程

	1次試験	2次試験
日時	7月28日(日)午前9時~	9月上旬または中旬予定
会場	佐沼中学校	1次試験合格者に通知します
試験内容	教養試験(2時間)、一般性格判断検査(20分)	1次試験合格者に通知します
合格発表	8月23日(金) 市役所迫庁舎前掲示板、市公式ホームページに受験番号を掲示し、合格者に郵送で通知します	9月24日(火) 市役所迫庁舎前掲示板、市公式ホームページに受験番号を掲示し、合格者に郵送で通知します

【申し込み・問い合わせ】
 総務部人事課
 (人事研修係)
 〒987-0511
 登米市迫町佐沼字中江
 2-6-1
 ☎0220(22)2145

Information 01

水道事業所からの お知らせ

6月1~7日は 水道週間

毎年6月1日から7日までの期間は、全国一斉に水道週間による取り組みが実施されています。第61回水道週間のスローガンは「いつものむいっもの水に日々感謝」。

水道は、私たちの生活に欠かせることができません。市では「水」水道への理解と関心を深め、きれいな水と美しい自然環境を守るため、各行事や、作品コンテストなどへの参加者を募集します。

■第21回北上川クリーン作戦
【内容】登米市管工事協同組合や地域のひとと河川の清掃
【日時】6月5日(水)午後3時~4時30分(雨天中止)
 ※実施の有無については、問い合わせください
【清掃場所】登米大橋から下り松取水塔まで
【集合場所】水辺プラザ船着場(登米町寺池)
 ※作業着など、汚れてもいい服装でご参加ください
【問い合わせ】水道事業所水道



【規格】①はがき1枚に1点
 ②小学1~3年生 800字以上、小学4~6年生 1200字以上、中学生 1600字以上 ③画用紙4ツ切判(54センチ×38センチ) ④半紙

【対象】①制限なし ②小中学生 ③小学生
【題材】①②③水道に関するもの ④小学1~3年生「みず」、小学4~6年生「水道週間」

施設課(施設維持係)
 ☎0220(52)3312
■第61回水道週間作品コンテスト

水道に関する標語や作文を通じて、水資源の大切さを多くの皆さんに感じてもらうため、作品を募集します。

【募集作品】①標語 ②作文 ③図画 ④習字



【応募締切】6月7日(金)必着
【応募先・問い合わせ】水道事業所水道管理課(経営管理係)
 〒987-0702 / 登米市登米町寺池目子待井381-1
 ☎0220(52)3313

市上水道事業運営審議会 委員を募集します
 上水道事業の重要事項を協議する、市運営審議会の委員を募集します。
【募集人員】3人
【資格】①20歳以上で市内に住

【日時】6月7日(金)午前10時~正午、午後1時~4時30分
【場所】登米市管工事協同組合駐車場(登米町寺池目子待井74-3)
【問い合わせ】登米市管工事協同組合
 ☎0220(52)3911

Information 02

アメリカカシロヒトリを 駆除しましょう

アメリカカシロヒトリは、サクラやクワなどの樹木に被害を与える害虫です。食害が発生した場合は、樹木所有者が責任を持って駆除処理をお願いします。

【駆除用機器の貸し出し】行政区などで地域共同駆除をする場合、無料で高枝切りばさみや動力噴霧器などを貸し出しています。また、高枝切りばさみは、個人・事業所へも貸し出しています
 ※駆除用機器は、各総合支所に備え付けていますので、市民課窓口へ申請してください
【問い合わせ】市民生活部環境課(生活環境係)
 ☎0220(58)5553

らんでいる②水道事業に関心があり、意見を述べられる③市職員および市議会議員でない
【任期】委嘱の日から2年間
【役割】水道事業管理者からの諮問に応じ、上水道事業に関する重要事項を協議します
【会議回数】1年間に2回程度
【応募方法】次の事項を記載した「応募申込書」と「作文」を持参または郵送で、水道事業所水道管理課に提出してください
①住所、氏名、性別、電話番号、生年月日 ②職業・勤務先 ③経歴(職歴・学歴など参考となる事項) ④応募動機など
 ※応募申込書は任意様式。作文は「水道事業について」と題し、400字程度にまとめてください
 ※応募書類は返却しません
【応募締切】6月28日(金)必着
【選考結果】応募者全員に通知
【申し込み・問い合わせ】水道事業所水道管理課(経営管理係)
 〒987-0702 / 登米市登米町寺池目子待井381-1
 ☎0220(52)3313

Information 07

万が一のために 市民活動総合補償制度

【市民活動総合補償制度とは】

市は、市民の皆さんが安心して市民活動に参加できるよう、市民活動総合補償制度を設けています。これは、自治会、市民活動団体やその他市民活動をしている人が、無報酬での公益的な活動中にけがをしたり、誤って第三者を負傷させた場合などの不慮の事故を救済する制度です。保険料は市が負担し、保険会社と契約します。皆さんが事前に参加や登録の手続きをする必要はありません。

【補償制度対象者】

市内を拠点として継続的、自発的な市民活動により公益的なサービスを提供している個人や団体が対象です。例えば、レクリエーション活動の場合、活動を運営するスタッフ(サービスの提供者)は補償の対象になりますが、出場者や応援者(サービスの受益者)は対象になりません。

【補償の対象となる主な活動】

市民活動の区分	具体例
1 社会教育活動	清掃活動、河川・道路愛護活動、防犯・防火活動、自治会活動(役員会・総会を含む)、除雪ボランティアなど
2 社会福祉・社会奉仕活動	
3 青少年健全育成活動	

補償の対象とならない主な活動

宗教・政治・営利を目的とした活動、学校などの行事、銃器を使用する有害鳥獣駆除活動、趣味などを目的としたスポーツや文化活動など

【事故が発生したら】

事故発生から30日以内に、最寄りの総合支所市民課(市が実施した事業での事故は事業担当課)へ、事故報告書に活動の概要を把握できる資料(通知文、お知らせなど)を添えて申請してください。

■賠償責任補償

(第三者の身体・財物に損害を与え、法律上の賠償責任を負う場合)

区分	補償金支払限度額	免責金額
身体賠償	1人につき6千万円 1事故につき2億円	1事故につき1万円(自己負担額)
財物賠償(受託物含む)	1事故につき1千万円 (受託物は100万円)	

※補償の対象とならない主なもの=交通事故などの車両によるもの、同居親族に対するものなど

■傷害補償

(活動中の事故で負傷、もしくは熱中症などを発症し、通院した場合)

区分	補償金支払限度額
死亡補償	1人につき300万円
後遺障害補償	1人につき9万~300万円(後遺障害の程度による)
入院補償	1日につき3千円(180日を限度)
通院補償	1日につき2千円(90日を限度)

※補償の対象とならない主なもの=自覚症状しないむち打ち症や腰痛、脳心疾患・疾病(熱中症、日射病、細菌性食中毒を除く)など

【問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)

☎ 0220(22)2173 ☎ 0220(22)9164

Information 04

世界に飛び立て中高生 海外で貴重な経験を

■海外派遣事業参加者募集

青少年海外派遣事業は、次代を担う国際感覚豊かな青少年を育成することを目的に実施しています。令和元年度の派遣団員を募集します。

【派遣先】オーストラリア(クイーンズランド州、フレザークコースト市)
【派遣期間】10月23日(水)~30日(水)
【負担金】一人10万円
【派遣資格・人数】市内在住の中学2年生~高校3年生10人程度

【提出書類】①青少年海外派遣事業参加申請書②作文(1600字以内)
【応募締切】6月14日(金)必着
※派遣団員は、作文と面接審査の結果で決定します
※詳しくは、市公式ホームページまたは登米市青少年国際交流事業実行委員会事務局まで問い合わせください
【申し込み・問い合わせ】登米市青少年国際交流事業実行委員会事務局(登米市国際交流協会)
☎ 0220(52)2144



感動いっぱいカナダ体験 平成30年度のカナダコース参加者の感想を紹介します。



松浦真菜 東和中2年

私が今回の海外研修を体験して一番伝えたいことは、外国に行ったり外国人と話したりすることは決して怖くないということなんです。私も初めは少し怖かったり、緊張したりしましたが、自分から話しかけることがなかなかできませんでしたが、一度話してみるとホストファミリーはもちろ

ん、店員さんや、ただ街を歩いている人でさえも、質問すれば誰でも明るく答えてくれました。話す言葉は違っても、そこには変わらない人の温かさを感ずることができました。



遊佐菜々美 佐沼中2年

私は、海外に行かなければ学べないことがたくさんあったと思います。中でもホームステイでは、本当の家族と同じように接してくれました。多少英語が通じなくても嫌な顔せず、分かりやすい英語にしてくるなど、優しく対応してくれて、人の温かみを感じました。

カナダは私にとって初めての海外だったので、全てが新鮮でした。この研修は本当に学ぶことが多く、人としても成長できたので、参加して本当に良かったんです。



※学校・学年は参加当時のものです ※感想は研修報告から抜粋したものです

Information 05

高森パークゴルフ場がオープン

石越高森公園内に「高森パークゴルフ場」が完成。6月1日(土)午前10時からセレモニーを開催するほか、当日は無料でパークゴルフが楽しめます。 ※参加者多数の場合、お待ちいただくことがあります
【パークゴルフ場の概要】▼6コース54ホール(クラブ、ボールのレンタル有)▼料金■高校生以上600円、小中学生300円▼営業時間■午前8時30分~午後5時(第2・第4火曜日、年末年始などは休場)
【問い合わせ】教育委員会教育部生涯学習課(スポーツ振興係) ☎ 0220(34)2698



Information 06

児童手当の 手続きを忘れずに

現況届は、6月分以降の児童手当の受給継続要件を確認するための大切な手続きです。対象者には、6月10日頃に案内を送付しますので、6月末まで提出してください。
【手続きに必要なもの】①現況届②印鑑(スタンプ式以外)③受給者の健康保険被保険者証の写し(厚生年金加入者のみ)
▼受給者が児童と別居している場合■別居監護申立書▼児童の住所が登米市にない場合 ■児童および同居している人 全員の住民票の写し(記載省略のないもの)
【受付場所】各総合支所市民課
【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(児童福祉係) ☎ 0220(58)5562

Information 08

もしものときに備えて 防災訓練を開催

自主防災組織の防災力向上に向けて、総合防災訓練を開催します。初動活動対応訓練のほか、一般参加者対象の消火や応急救護、指定避難所運営などの訓練も実施します。 ※展示・体験コーナーもあります
【日時】6月9日(日)午前9時~11時30分
【場所】消防防災センター ※駐車場は、登米祝祭劇場の駐車場をご利用ください



【問い合わせ】総務部防災課(防災危機対策係) ☎ 0220(22)2130

ごみの出し方について

燃やせるごみ指定袋に、燃やせないごみや埋立ごみを入れ、集積所に出している人を見受けられます。そのようなごみを収集することはできないため、種類ごとに指定袋に入れ、収集日の午前8時まで集積所に出すようお願いします。



【問い合わせ】環境事業所クリーンセンター ☎ 0225(76)0102



6月の献血日程



7日(金)
▶登米市管工事業協同組合
10:00～11:45
13:00～16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(健康推進係)
☎0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話

誰にも言えない気持ち
聞かせてください。

☎022(718)4343

いろいろなことに、悩み、苦しんでいる人の「こころの声」を聴きます。

子ども夜間安心コール

●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間
毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎0229(24)2267

【応募資格】①令和元年5月1日現在、満20歳以上で市内に住所があり、居住していて任期中に転出する予定がない人
②市食育推進計画に関する施策の実施、推進に関心のある人
③市職員および市議会議員でない人
【任期】令和元年8月1日～令和3年7月31日(2年間)
【役割】市食育推進計画に関する重要事項の審議、施策の実施推進
【応募方法】郵送、ファクシミリ、電子メールまたは持参

専門講師が効果的な歩き方や自宅で行える運動をレッスンします。1回だけの参加も大歓迎ですので、気軽に参加ください。

【申し込み・問い合わせ】
▼イオンタウン佐沼
☎0220(21)0609
▼市民生活部健康推進課(健康推進係)
☎0220(58)2116
✉kenkousuin@city.tome.
niyagrip

6月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当・予約先
10月	南方保健センター 13:30～15:30 精神保健福祉士・学校心理士 ☎0220(58)2113(健康推進課)
14日	登米総合支所 13:30～15:30 医師 ☎0220(52)5054(登米総合支所)
18日	石越総合支所 13:30～15:30 医師 ☎0228(34)2113(石越総合支所)
19日	迫保健センター 9:00～11:00 臨床心理士 ☎0220(22)5554(迫総合支所)
28日	東和総合支所 13:30～15:30 精神保健福祉士・臨床心理士 ☎0220(53)4113(東和総合支所)

精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日(土日、祝日を除く)まで、各予約先まで申し込みください。
登米市民病院小児科日曜日救急診療
●診療時間 9:00～17:00(受付16:30まで)
【問い合わせ】登米市民病院
☎0220(22)5511

6月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
2日	豊里病院(豊里町) ☎0225(76)2023	豊里病院歯科(豊里町) ☎0225(76)2023
9日	大坂医院(中田町) ☎0220(34)6625	さとう歯科医院(迫町) ☎0220(22)8133
16日	しのはらクリニック(米山町) ☎0220(23)7387	佐藤歯科医院(豊里町) ☎0225(76)0220
23日	佐藤医院(南方町) ☎0220(58)2058	プレミア歯科(南方町) ☎0220(23)2038
30日	米川診療所(東和町) ☎0220(45)2301	スマイル歯科(南方町) ☎0220(23)7756

●診療時間 9:00～17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月～金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

市食育推進会議の委員を募集

市は、市食育推進計画(元気とめ食育21計画)により、食育に関する施策を推進しています。協働で食育を推進するため、市食育推進会議の委員を募集します。

【提出書類】①作文「登米市の豊かな人材・食材を活かした食育活動」に関して400～800字程度②次の事項を記載した申込書(任意様式も可)
Ⅱ住所、氏名、電話番号、性別、生年月日、職業、勤務先、応募理由
※応募申込書は各総合支所と市民生活部健康推進課(南方庁舎2階)に設置しています
【募集期限】6月7日(金)必着
【応募・問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)
☎0220(58)2116
☎0220(58)3345

タウンウォーキング
参加者募集

【開催日】▼6月6日(木)▼7月18日(木)▼9月12日(木)▼10月3日(木)▼11月14日(木)▼12月12日(木)▼1月23日(木)▼2月13日(木)▼3月12日(木)
【時間】午前10～11時(午前9時45分から受け付け)
【集合場所】イオンタウン佐沼(セントラルコート)
【講師】東北文化学園大学/佐藤敬広氏
【持ち物】タオル2枚(汗拭き・レッスン用)、飲み物
【申込方法】電話または電子メールで氏名、性別、年齢、電話番号をご連絡ください
☎0220(21)0609

登米市の財政状況

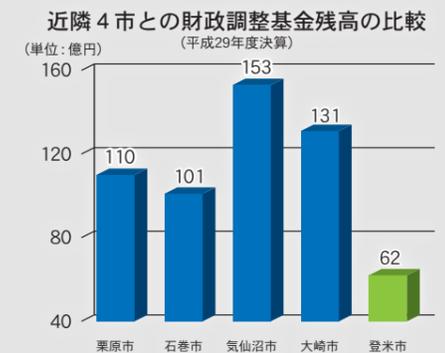
③市の貯金と借金

～市民の皆さんと市の現状を共有し、よりよいまちづくりを目指すため財政状況をシリーズで紹介します～

近隣4市との比較で最も少ない貯金残高

市には貯金に相当する各種の「基金」があります。中でも税収などの減少や、突発的な財政出動に備えるための財政調整基金(※1)は、自治体の財政運営にとって生命線とも言うべき重要な基金です。

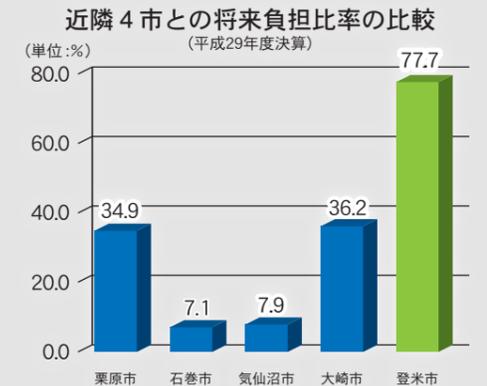
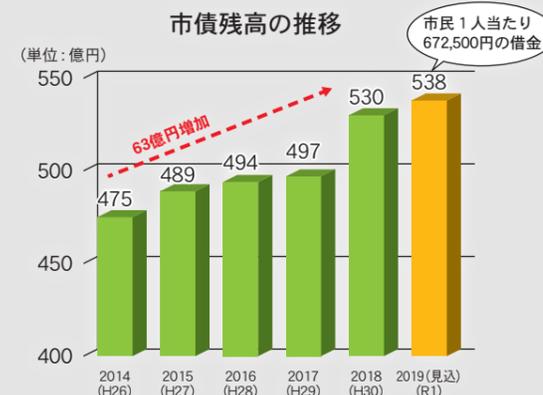
近年は、財源不足により、財政調整基金を取り崩した厳しい財政運営となっているため、残高が年々減少しており、枯渇することが懸念されています。



(※1) 財政調整基金=市の臨時的な出費に役立てるために積み立てている貯金
◎上記基金のほか、将来の借入金返済に役立てるための減債基金や特定目的基金、定額運用基金があります

借金は年々増加、将来の負担は上昇傾向

市の借金である「市債」の残高は、登米市として合併した後、最も少なかった平成26年度の475億円から年々増加しており、令和元年度には538億円になる見込みで、将来負担比率(※2)は近隣4市との比較で最も高くなっています。



(※2) 将来負担比率=市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる借金などの割合
◎将来の財政を圧迫する可能性が高いとされる目安(早期健全化基準)が350%以上で、この基準値を超えると国のために従い、財政の健全化に向けた取り組みが必要になります

【問い合わせ】企画部財政課(財政一係) ☎0220(22)2159



豊里

昔懐かしの駄菓子に舌鼓打つ

「だかし屋カフェ」(登米市社会福祉協議会豊里支所主催)は4月22日、豊里高齢者趣味の交流館で開かれ、子どもからお年寄りまで約250人が訪れました。
だかし屋カフェは、地域の人が世代を問わず気軽に集まれる場所をつくるのが目的。3回目の開催となった会場は、昔懐かしの駄菓子を頬張る子どもや、ピースプレスレットの手芸工作などを楽しむ高齢者などであふれ、用意された約30種類の駄菓子が完売するほどの盛況ぶりでした。

華やかな演目と満開の桜満喫

「平筒沼ふれあい公園桜まつり」(同実行委員会主催、今野秀俊会長)は4月20、21の両日、平筒沼youyou館周辺を会場に開かれ、家族連れなど多くの来場者でにぎわいました。
館内の特設ステージでは、米山、豊里の両文化協会による舞踊のほか、野外では米山丸山太鼓による和太鼓の演奏や「郷友連合とめっきゅう」による、よさこいなどが披露。夜には公園の遊歩道沿いの桜がライトに照らされ、沼面に映し出された幻想的な桜が来場者を魅了していました。



米山



石越

児童とスタッフが楽しく交流

石越放課後子ども教室「初めましての会」は4月11日、石越小学校(小松祐治校長、児童196人)で開かれ、参加児童とボランティアスタッフが交流を深めました。
初めましての会では、小松校長から「感謝の気持ちを忘れないこと」について話があり、参加児童とボランティアスタッフがそれぞれ自己紹介。みんなで写真撮影をした後は、遊具などで遊ぶ児童をスタッフが見守りながら、放課後の時間を楽しく過ごしていました。

もっこり輪なげで皆にっこり

「第3回もっこり世界一の輪なげ大会」(さくらロード実行委員会主催、佐々木弘喜委員長)は4月14日、南方大嶽山交流広場公園で開かれ、約260人が参加しました。
晴天の中、大人の部と小学生以下の子どもの部で熱戦が繰り広げられ、1位から3位までの入賞者には、登米市産の仙台牛や南方産米など、地場産の豪華景品が贈呈。中国から県内に嫁いできた皆さんによる踊りも披露され、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。



南方



津山

太鼓と笛の音響かせ安全祈願

麻崎神社の春の大祭「つやま打囃子春祭り」(同保存会主催、林三治会長)は4月21日、柳津地区で開かれ、華やかな山車とともに柳津小、津山中の児童生徒と地域住民約30人が太鼓と笛の音響かせながら、地区内を練り歩きました。
つやま打囃子は、戦争などの事情により一時途絶えましたが、1978年に保存会を結成して復活。交通安全や無病息災などを祈願しています。法被姿の子どもたちが通ると、沿道からたくさんの声援と拍手が送られました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

春の海風に誘われ健康づくり

「スプリングハイクin大島」(北方公民館主催)は4月16日、休暇村気仙沼大島で開かれ、参加者28人が4月に開通したばかりの気仙沼大島大橋を使い、大島へ渡りました。
今年で4回目となるスプリングハイクは、心身のリフレッシュや体力の維持が目的。当日は天候に恵まれ、春の海風を全身に感じながら、自然の中でハイキングを満喫しました。その後の昼食では、地元産の海産物に舌鼓を打ちながら会話も弾み、楽しい一日を過ごしていました。

桜を見ながらはっとを味わう

「春のはっと屋台村」(とよま振興公社主催)は4月20、21の両日、とよま観光物産センター「遠山之里」で開かれ、好天に恵まれたこともあり、家族連れなど多くの来場者でにぎわいました。
はっと屋台村には、7軒の屋台が店出。油麩、すりみ、ニラなどの具材が入った、さまざまな味のはっと汁が振る舞われました。訪れた人は満開の桜の下ではっと汁を味わいながら、春の訪れを感じていました。



登米



東和

人命を救う市民の役割を学ぶ

「救命救急講習会」は4月19日、東和中学校(千葉純子校長、生徒117人)で開かれ、同校の2年生38人が参加しました。
講習会は、市消防署東出張所の署員が指導。傷病者の命を救い、社会復帰に導くためには、現場に居合わせた市民の行動が大切であることを学び、心肺蘇生法とAEDの使用方法について実技講習を受けました。生徒は、真剣に講義に耳を傾け、実技の習得に励んでいました。

絵手紙教室で春の訪れを描く

「浅水絵手紙教室」(浅水コミュニティ運営協議会主催、羽生進会長)は4月17日、浅水ふれあいセンターで開かれ、13人が参加しました。
同教室は毎月2回開催し、季節の花や日常の風景を描き、講師の指導を受けながら絵手紙を仕上げています。また、季節に合わせたイベントも実施され、当日はお花見とお茶会が催されました。参加者は丁寧に絵筆を走らせながら、訪れた春を色彩豊かに描いていました。



中田

4月19日までの3歳児健診でむし歯のなかった子どもたち



むし歯がなかった子は、市内9地区で40人中29人でした

第35回むし歯予防青空キャンペーン

【日時】6月8日(土)午後2時～4時
 【場所】イオンタウン佐沼(セントラルコート)
 【内容】むし歯や歯槽のうろうなどのチェック、むし歯予防グッズの無料配布、BMI測定、咬合力チェックなどの各種ブース、登米市出身のシンガーソングライター 泉忠伸さん、かおるさんによるミニコンサートなど
 【主催】登米市歯科医師会
 【問い合わせ】おおさか歯科医院 ☎0220(34)6668



いつまでもお元気で

おめでとうございます 祝100歳

岐阜県で生まれ育ったハツエさんは、夫の転勤で登米市に引っ越してきました。ハツエさんの特技は、おいしい料理を作ること。子育て中は、酢豚やドーナツ、ケーキなど戦後の当時にはあまり家庭で作ることが少なかった料理で子どもたちを喜ばせていました。長女の鹿野博子さんは「これからもさらに長生きしてもらって、みんなを元気にする笑顔を見せ続けてほしい」と話しています。



小山 ハツエさん (迫町・内町) 大正8年4月27日生まれ

一般向け

子ども向け

PICKUP_04 「1R1分34秒」



町屋 良平/著
 実力が発揮できず、スランプに陥るボクサーが再起する第160回芥川賞受賞作品。一人のトレーナーとの出会いが、ボクサーの人生を変えていきます。

PICKUP_05 「こどもにスマホをもたせたら」



デボラ・ハイトナー/著
 スマホの使い方を、親子で話し合うことが大切です。自信を持ってアドバイスできるように、ノウハウを学び、子どもをデジタルのトラブルから守りましょう。

PICKUP_06 写真アルバム 「宮城三陸・登米の昭和」



いき出版/発行
 元号が変わり、時代が移りゆく中で、昭和の生活・文化を振り返ってみませんか。三陸、登米地域の古き良き昭和が、写真とともによみがえります。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

PICKUP_01 「どうぶつ四字熟語えほん」



石井 聖岳/作
 四字熟語と一緒に、動物の子どもたちが描かれた楽しい絵本です。ユーモアいっぱいの絵本で、楽しみながら四字熟語の意味を学べます。

PICKUP_02 「言葉屋」



裏方たちとおもてなし
 久米 笑美里/作、もとやままこ/絵
 言葉を口にする勇気と、しない勇気を提供する「言葉屋」で修行する中学2年の詠子。さまざまな悩みを抱える友達とどう向き合い、言葉をかけるのでしょうか。

PICKUP_03 「ヨハンナの電車のたび」



カトリーン・シェラー/作
 ブタのヨハンナが電車に乗って旅へ。さあ、どんな旅になるのでしょうか。ページをめくっていきくと、ヨハンナが私たちに話しかけてきて...

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどお知らせします

銀河万丈読み語り 「言ーごんべんー」を開催

声優・ナレーターとして幅広く活躍している銀河万丈氏を語り手として、朗読会を開催します。電話で申し込みください。 ※定員になり次第受付終了
 【日時】6月29日(土) 開場/午後6時15分 開演/午後6時30分
 【場所】石ノ森章太郎ふるさと記念館(エントランス)
 【聞き耳代】無料
 【定員】60人
 【申し込み・問い合わせ】中田生涯学習センター ☎0220(34)8081



ー6月1日から利用サービスを変更しますー

- ▶ 個人貸出の冊数が、1館につき10冊、団体貸出が、100冊に増えます。
- ▶ 図書館の複写サービスが、カラーコピーも可能になります。 ※所定の料金がかかります
- ▶ 市内どこの図書館でも、本の返却が可能になります。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書館は祝日も開室) ※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください
- 問い合わせ 迫図書館 ☎0220(22)9820 登米図書館 ☎0220(52)5330 中田図書館 ☎0220(34)8081



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

佐々木 愛莉さん

ささき・あいり 豊里小4年
豊里町・下町

すてきな看護師になるために

私の将来の夢は看護師になることです。3歳の頃、やけどをして入院したことがありました。その時は点滴をして、とても痛い思いをしましたが、看護師さんが点滴を留めるテープにアンパンマンなどのキャラクターをたくさん描いてくれました。私はとてもうれしかったことを覚えています。また、やけどの手当てをするときに、怖がって泣いている私に「大丈夫だよ」と優しく声を掛けてくれました。看護師さんたちは大変な仕事をしているのに、いつも笑顔で私の所へ来てくれました。

看護師になるために、困っている人を助けたり声を掛けたりする親切な心を持ちたいと思います。私のお母さんも看護師をしています。大変だけど、とてもやりがいがある仕事だと言っています。

私は、笑顔を忘れず、患者さんに優しく頼られる看護師になりたいです。そのために、勉強も頑張っていきたいと思います。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



高橋 実玖ちゃん(1歳)

2018年3月17日生まれ
迫町・中江 瑞樹さんの長女
音楽を聴くと手をパンパンたたいていつもノリノリ。これからも元気いっぱい笑顔で家族を明るく照らしてね。



佐藤 悠斗くん(1歳)

2017年10月30日生まれ
中田町・本町畑中 信彦さんの次男
1歳になった悠斗。食べることといたずらすることが大好き。これからもにこにこ元気いっぱい成長してね。



石川 琥珀くん(2歳)

2017年3月26日生まれ
東和町・米谷8区 麻依さんの長男
いつもにこにこな琥珀くん。これからもたくさん笑って泣いて元気いっぱい遊ぼうね。

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

尾張 望実さん(27)

おわり・のぞみ
津山町・横山8区

★身長と血液型 161㎝でO型です。

★現在は 石巻で理学療法士として働いています。理学療法士は、けがや病気で身体機能が低下した人たちに、歩く、立つといった日常生活を取り戻すためのサポートをする仕事です。小学2年生の時、スキーで足を骨折し、1カ月半ほど入院した時に病院で働くことに興味を持ちました。リハビリの先生のおかげで、元通り歩けるようになった思いが強かったのか、気が付いたら自然と理学療法士を目指していました。

★自分の性格 きっちりすることは性に合わないと思います。周りからは、悩み事がなさそうだねと言われますが、自分なりにストレスを発散して、引きずらないようにしています。

★休日は 車の運転が好きなので、夕飯の買い物でたら、気になるお店に行ったりしています。また、勉強も兼ねて、母校の大学に行き、恩師の研究を手伝うこともあります。医学は日々進歩しているので、学ぶことに終わりはないですね。

★趣味は 小中高、大学とバレーボールをしてきて、就職後も石巻のチームに所属しています。走ることも好きで、フルマラソン完走の目標を昨年達成しました。

★理想の男性像 思いやりのある人がいいですね。スポーツが好きなので一緒に楽しめる人が理想です。

★登米市について一言 ここ数年、ご当地グルメやイベントなどをきっかけに、有名になってきた印象があります。知名度が上がることで、もっと活性化するといいですね。



～「わが家のアイドル」を募集～

市内の3歳までの子どもたちを募集しています。家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字以内)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212ldolMyHome>

電子申請 QR コード





菅野 正八さん(93) あきさん(92) 豊里町・上町 1953(昭和28)年10月入籍

夫婦で100歳を迎えたいね

★二人のなれ初めは 【正八】親父が始めた畳屋を手伝ってた時、何回か仕事に行った家の縁で、紹介してもらったね。「けっから」「んで、もらうがら」って(笑)。よく嫁に来てくれたで。 【あき】父は、手に職があるからいいと思ったみだい。 ★お互いの第一印象は 【正八】美人だと思ったよ。 【あき】昔のことだし忘れてしまったで(笑)。 ★結婚当時の思い出は 【正八】結婚して1年半で畳屋として独立したが、随分苦勞させだ。 【あき】苦勞の分、出雲、天橋立、長崎とか、いろんな所に旅行に連れてってもらったね。 ★お互いの性格は 【正八】真面目で芯が強いね。 【あき】職人気質で頑固だね。 ★現在の楽しみは 【二人】二人で散歩や日なたぼっこするのもいいけど、デイサービスに行くと、みんなど話語りするのも楽しいね。 ★夫婦円満のコツは 【あき】我慢しないことだね。 【正八】けんかしなごがな。今更けんかしたって、しゃあねえしな。 ★これからしたいことは 【二人】元気に長生きしたいね。二人で100歳が目標だね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「小さい頃の手伝い」

月日が経つのは早いもので、上京してはや60年近くになります。この年になって、故郷のことで思い浮かぶのは、小中学時代のわんぱくだった頃に野山を駆け回って遊んだことや、農繁期の手伝いのことです。 わが家は農家でしたので、忙しい時の手伝いは当然のこと、特に田植え時期は早朝から夕暮れまで田んぼに出て作業する毎日でした。中でも代掻き作業はきつ、馬の鼻取り作業など、子どもの私にとって大変な重労働でした。

田植えは、隣近所10人ぐらいで一斉に並んで植える手法です。苗運びや植え手への苗配りは、子どもながらにタイミングを外さないように一生懸命でした。忙しく動き回っていると、あぜから足を滑らせたり、泥を浴びたりしながら手伝っていました。 学校は、早朝に登校し、黒板に名前を書くことで早退扱いになる良き時代でした。 今では、農作業は機械化された掻きや田植え作業などの風景は一変しました。

泣き言を言わず、親や兄の姿を見ながら手伝った日々。代掻きの鼻取り作業は何度も重ね回り、土を柔らかくし

千葉 哲朗さん(77)

東京いしこし監事 石越町(第十)出身



振り返りますと、私は1960(昭和35)年ごろに上京し、40年近く農業機械の開発・改良・検査をする仕事に携わってきました。小さい頃の農業が過酷だったことを考え、重労働から解放するための仕事に従事してこれたのも、根底に故郷があったからだと感じています。

おらほの産直

農産物直売所 「産直なかだ愛菜館」



やわらかく、ふわっとした食感を大切に、焼き立てのパンが並びます。

今月は、農産物直売所「産直なかだ愛菜館」の志田政彦店長と「パン&菓子工房H.A.I.J.I」の菅原和哉オーナーシェフにお話を伺いました。 Q お勧め商品などを教えてください 【志田】地の物野菜を取りそろえているので、野菜の新鮮さには自信があります。また、隣接する加工場で作られるパンも人気がありますね。 【菅原】2018年2月から火、木、金、土曜限定で焼き立てのパンを提供しています。売れ筋は、ピーナッツパンとちぎりパン。ほかにも、あんぱ



生産者の只野さん、たくさんの生産者が毎日新鮮な野菜を届けてくれます

ん、クリームパン、メロンパン、クロワッサンなどの定番商品や米粉パンを作っています。また、牛乳と卵を一切使わないアレルギーに対応したパンも扱っています。 子ども会、地域の集まり、ホームパーティーなど、さまざまなイベント時の予約販売も承っており、イベントの10日前までに連絡をいただければ、希望に合わせたパンをご用意できます。 Q これから開催されるイベントなどを教えてください 【志田】本年5月に開館15周年を迎え、記念イベントを考えています。期間中は記念タオールのプレゼントなどを予定していますので、ぜひお越しください。 【問い合わせ】 ▼農産物直売所「産直なかだ愛菜館」 ☎0220(35)3050 ▼パン&菓子工房H.A.I.J.I ☎080(9019)6856

まちの文芸

作品募集! ●7月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、5月31日(金)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

朝刊と牛乳瓶の擦れ音 暁前の目覚ましなりき 春日和庭の草取り始めるか 手足のばせばすずめらの声 萌え出づる山肌の新葉の濃淡は パッチワークに早春の手芸か 訪ね来し妹の手にフリージアの花束ありてわが古希となる 元号の発表の日に朝日差し 煌めきて咲く庭のアネモネ

鈴木 巖優 (登米) 千葉 良子 (東和) 及川 慎一 (中田) 熊谷たかよ (中田) 熊谷タヘ子 (中田)

スイッチオンアクセラレーキウインカー 佐々木栄一 (中田) 若き日に返る思いでミニデイで 体力つけんと友等と努む 千葉 源治 (中田) 脚弱り手押し車で散策す 鶯の声峡に聞きつつ 本宮やつの (中田) 車窓より眺むる故郷の風景や 梅、桃、桜、新緑に映えて 石崎よしの (米山) 香立ち梅の花咲つ我が庭に いにしえ徳ぶ令和の響 佐々木まき (石越)

応募総数24作品

情報場 Information

**夜間納税相談窓口
(5月・6月分)**
【日時】5月30日(木)
6月27日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】総務部収納対策課
(迫庁舎1階)
【問い合わせ】
総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

市が発出する文書などの元号について
5月1日から元号が「平成」から「令和」に変わりましたが、市から発出する文書などには、事務処理の関係により「平成」や「平成31年(度)」と表記される場合があります。この表記は有効であるため「令和」に読み替えていただきますようお願いいたします。
【問い合わせ】総務部市長公室(法制係)
☎0220(22)2090

募集

**親子で体験保育
スマイルキッズデー**
親子で体験保育ができません。希望者は3日前までに電話で申し込みください。
【日時・場所】6月12日(水)午

前9時45分～11時/白鳥ゆめっ子園、6月13日(木)午前9時45分～11時/白鳥水の里こども園
【対象者】3歳未満児
【活動内容】歯磨き教室
【申し込み・問い合わせ】
▼白鳥ゆめっ子園
☎0220(22)1108
▼白鳥水の里こども園
☎0220(23)9811

第10回登米市長杯パークゴルフ大会参加者募集

【開催日】6月15日(土)小雨決行
【場所】高森パークゴルフ場(石越高森公園内)
【募集人数】約150人
【参加料】1000円(入場料600円は各自支払い)
【申込期限】6月5日(水)必着
【申込方法】住所、氏名、性別、生年月日、電話番号を明記の

上、フアクシミリまたは携帯電話のショートメールで申し込みください
【申し込み・問い合わせ】事務局(担当 永浦正義)
☎090(9532)5435
FAX0220(58)2124

パソコン(初級)講習会 受講生を募集

【講習内容】①ワード/②エクセル/③パワーポイント/④インターネット/⑤印刷
【申し込み・問い合わせ】市視聴覚センター
☎0220(22)5219

お知らせ

**特定計量器定期検査を
忘れずに受検ください**
計量法に基づき、2年に1

回の特定計量器定期検査を実施します。
平成29年度に受検された人には、事前に定期検査受検票を送付します。新規に検査を希望する人は、早めにご連絡ください。
【検査に必要なもの】特定計量器(はかり、分銅、おもり)、定期検査受検票、検査手数料(現金)
※定期検査の対象はひょう量500gまでの計量器です
【対象の特定計量器】①商品の販売に使用するもの ②健康診断に使用するもの ③薬の調剤に使用するもの ④原材料の購入(物品検取)に使用するもの ⑤貨物などの運送料計算のために使用するもの

【実施日・会場・時間】

月日	会場	時間
7月1日(日)	石越総合支所	11:00～12:00
7月2日(日)	宝江ふれあいセンター	11:00～14:30
7月8日(日)	登米総合支所	
7月10日(水)	東和総合支所	
7月12日(金)	豊里公民館	
7月16日(火)	迫総合支所	
7月19日(金)	南方総合支所	

※どの会場でも検査ができます

障がい者の自動車燃料費、タクシー料金を助成
【対象者】世帯全員の住民税が非課税で、次の①～③のいずれかに該当する人
①身体障害者手帳1・2級、内部3級、療育手帳A所持者、精神障害者保健福祉手帳1・2級で所有する自動車
②身体障害者手帳3級で、自動車所有し運転する
③療育手帳

障がい者の自動車燃料費助成
【対象者】世帯全員の住民税が非課税で、次の①～③のいずれかに該当する人
①身体障害者手帳1・2級、内部3級、療育手帳A所持者、精神障害者保健福祉手帳1・2級で所有する自動車
②身体障害者手帳3級で、自動車所有し運転する
③療育手帳

A、精神障害者保健福祉手帳1・2級、18歳未満で身体障害者手帳1・2級、内部3級の障がい者と同居し、自己所有の自動車とその障がい者のために運転する
※福祉タクシー助成事業や透析患者通院費助成事業を利用して人、社会福祉施設入所者、申請時に継続して3カ月以上入院している人、生活保護受給者は対象外です
【対象車両】普通自動車、小型自動車、軽自動車のうち4輪以上のもの
【利用券の使い方】ガソリンスタンドで給油の際に、利用券(1枚千円分)を月2枚(年間最大24枚)まで利用できます

A、精神障害者保健福祉手帳1・2級、18歳未満で身体障害者手帳1・2級、内部3級の障がい者と同居し、自己所有の自動車とその障がい者のために運転する
※福祉タクシー助成事業や透析患者通院費助成事業を利用して人、社会福祉施設入所者、申請時に継続して3カ月以上入院している人、生活保護受給者は対象外です
【対象車両】普通自動車、小型自動車、軽自動車のうち4輪以上のもの
【利用券の使い方】ガソリンスタンドで給油の際に、利用券(1枚千円分)を月2枚(年間最大24枚)まで利用できます

【交付手続き】各総合支所で受け付け交付します
【持参するもの】①障害者手帳
②運転免許証
③車検証
④印鑑
【対象者】本人の住民税が非課税で次の①～④のいずれかに該当する人
①身体障害者手帳1・2級
②療育手帳A
③精神障害者保健福祉手帳1・2級
④身体障害者手帳3級所持者のうち、酸素濃縮器または車いすを常用している
※障害者自動車燃料費助成事業または透析患者通院費助成事業を利用して人対象外です
【利用券の使い方】タクシーに乗るごとに1枚、1カ月に4枚

【交付手続き】各総合支所で受け付け交付します
【持参するもの】①障害者手帳
②運転免許証
③車検証
④印鑑
【対象者】本人の住民税が非課税で次の①～④のいずれかに該当する人
①身体障害者手帳1・2級
②療育手帳A
③精神障害者保健福祉手帳1・2級
④身体障害者手帳3級所持者のうち、酸素濃縮器または車いすを常用している
※障害者自動車燃料費助成事業または透析患者通院費助成事業を利用して人対象外です
【利用券の使い方】タクシーに乗るごとに1枚、1カ月に4枚

まで利用できます(1年間で最大48枚)
※1枚につき小型タクシーの基本料金分になります
【交付手続き】各総合支所で受け付け交付します
【持参するもの】①障害者手帳
②印鑑
※各事業とも、平成30年1月1日以降に登米市に転入した人は、平成30年1月1日現在の住所地から、住民税の課税(非課税)証明書を、申請の際に提出してください
【問い合わせ】
▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎0220(58)5552
▼各総合支所市民課(市民係)

まで利用できます(1年間で最大48枚)
※1枚につき小型タクシーの基本料金分になります
【交付手続き】各総合支所で受け付け交付します
【持参するもの】①障害者手帳
②印鑑
※各事業とも、平成30年1月1日以降に登米市に転入した人は、平成30年1月1日現在の住所地から、住民税の課税(非課税)証明書を、申請の際に提出してください
【問い合わせ】
▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎0220(58)5552
▼各総合支所市民課(市民係)

住宅入居者を募集

募集する住宅	
市営住宅	米山清水第一住宅2-22号、1-34号(昭和58年) (米山町中津山字清水32番地2) ▶募集戸数=2戸(3DK)/家賃月額=1万5600円 ~2万3300円/駐車場利用は1台まで
市営住宅	津山柳津四丁目住宅3号(平成16年) (津山町柳津字本町67番地) ▶募集戸数=1戸(3LDK)/家賃月額=2万3100円 ~3万4400円/駐車場利用は1台まで
市営住宅	津山横山本町住宅B-2号(平成13年) (津山町横山字本町121番地31) ▶募集戸数=1戸(3LDK)/家賃月額=2万400円 ~3万3000円/駐車場利用は1台まで
特定公共賃貸住宅	津山柳津四丁目特定公共賃貸住宅1号(平成15年) (津山町柳津字本町67番地) ▶募集戸数=1戸(1LDK)/家賃月額=3万円~4万7000円/駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯
※市営住宅は低所得世帯であること、特定公共賃貸住宅は所得が一定基準額の範囲内であることなどの入居要件があります。詳しくは住宅都市整備課へお問い合わせください
※駐車場利用は、別途1台2千円かかります
【申込期限】5月31日(金) ※期限厳守・郵送不可
【申し込み】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
☎0220(34)2316

**自衛官を募集します
(採用予定月:8月~令和2年4月)**

募集種目	応募資格	受付締切	試験期日
自衛官候補生	採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の人 ※32歳の方は、採用予定月の3カ月後の末日現在、33歳に達していない人に限ります	1回目 6/7 ☎	6月15日(土)、 6月17日(月)、 6月18日(火)、 6月30日(日)、 のうち指定された1日
		2回目 7/19 ☎	7月27日(土)、 7月28日(日) のうち指定された1日

※採用試験は、筆記試験(国語、数学、社会及び作文)、口述試験、適性検査及び身体検査となります
※給与・処遇など、詳しくは下記までお問い合わせください
【問い合わせ】自衛隊 宮城地方協力本部 登米地域事務所
☎0220(34)2244

DAIYU HOME CENTER
ダイエー 登米中田店
毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日
税込3,240円以上お買上げで
ポイント5倍
除草剤・殺虫剤 販売中!!
※写真は売場イメージです

ダイエー 登米中田店案内図 広告
ウジエスーパーさん
マツモトキヨシさん
JAみやぎさん
中田総合体育館
登米市立登米小学校
ヨークタウン内ダイエー 登米中田店
宮城県登米市中田町石森字駒ヶ原400
TEL 0220-23-9433
営業時間 あさ8時~よる8時まで

確かな技術でまかせて安心 広告
電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検
有限会社 五島電機
登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告
KUMANEN
熊谷燃料住設株式会社
災害時安定供給施設
■アクアショップ KUMANEN ■BFC クマナン 【関連企業】
■コインランドリー 清潔空間 ■なごみの家きらり ■熊谷オウイング
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐佐木北畠120番1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 6月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1㊥	●第22回とめ舞踊フェスティバル 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】自由1500円	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
2㊥	●第14回とめ禅文化講演会 【開演】午後2時 【会場】大ホール 【入場料】無料(要整理券)	玉秀寺 ☎ 0220(52)3453
9㊥	●カラオケ教室サトー チャリティー発表会 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】自由1000円	カラオケ教室サトー ☎ 0220(22)8220
14㊥	●よしもとお笑いまつり in 登米2019 【開演】午後7時 【会場】大ホール 【入場料】指定4000円	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
16㊥	●第25回新舞踊まつり 花のチャリティーショー 【開演】午前10時30分 【会場】大ホール 【入場料】自由1500円	新舞会 ☎ 090(5831)5534
16㊥	●HULA HAUOLI 第16回発表会 【開演】正午 【会場】小ホール 【入場料】無料	フラ ハウオリ ☎ 0220(22)3930
21㊥ 22㊥	●劇団どんちょうの会 第64回公演「ナツヤスミ語辞典」 【開演】21日:午後7時 22日:●午後2時●午後7時 【会場】小ホール 【入場料】自由1500円、高校生以下500円	劇団どんちょうの会 ☎ 0220(34)2338
23㊥	●とめ・くりはらマンドリンクラブ 第20回定期演奏会 【開演】午後2時 【会場】大ホール 【入場料】自由500円	とめ・くりはらマンドリンクラブ ☎ 0220(29)6618

※6月の休館日は、3日、10日、17日、24日です
※入場料は前売り価格です

の状態を確認し、新たに把握した事業所などに、調査票を配布します。

6月から令和2年3月まで順次調査しますので、調査の際は、ご回答をお願いします。

【問い合わせ】企画部企画政策課(企画政策係)
☎ 0220(22)2147

たすきをつないで復興目指す

7月24日(水)から8月7日(水)までの15日間、青森から東京まで、ランニングと自転車

車で東日本大震災の被災地を縦断するリレーの参加者を募集します。

たすきをつなぐリレーを通じて、復興に向けた取り組みや被災地の現状を発信します。東日本大震災の記憶の風化を防ぐとともに、全国から集まる参加者と被災地の人たちが、スポーツを通じて絆を深めます。

【申込期限】5月28日(火)
【参加費】無料
【問い合わせ】未来(あした)への道1000キロ縦断リレー2019参加者事務局

浅水ふれあいセンターでは、地域活性化と子どもたちに元気になってもらいたいという思いから、毎年4、5月にこいのぼりを揚げています。

ご家庭で使わなくなったこいのぼりがありましたら、寄付をお願いします。

※指定場所まで受け取りに行きます

使わなくなったこいのぼりの提供を

☎ 03(3451)6107
http://www.1000km.jp

緊急速報メールで洪水情報を

北上川で氾濫の危険が高まった時に、緊急速報メールが自動で発信されます。メールを受信したら、雨の降り方や北上川の水位を「川の防災情報」で確認しましょう。

【問い合わせ】国土交通省 北上川下流河川事務所
☎ 0225(94)9854



【問い合わせ】浅水ふれあいセンター
☎ 0220(34)2008

市内事業者向け メールマガジンを配信

市内事業者向けの補助事業の募集や講習会・セミナーの案内など、各種情報をメールマガジンで配信しています。



希望者は上記「登録申し込みフォーム」を読み込み登録してください

【問い合わせ】産業経済部産業連携推進課(産業連携係)
☎ 0220(34)2549

「不正大麻・ケシ」 発見したらすぐに連絡を

大麻や一部のケシは、法律で栽培が禁止されています。ケシは、春から夏にかけて色鮮やかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。しかし、植えてはいけないケシには、園芸用と外観が似ている品種があるため、注意が必要です。

不正大麻やケシは犯罪に利用されることがあります。不正栽培、自生しているものを発見したときは、保健所や警察署までご連絡ください。

【問い合わせ】登米保健所(食)

品業事班 ☎ 0220(22)6120



鳥獣による 農作物の被害を防止

有害鳥獣による農作物被害を防止するため、防護柵の設置や狩猟免許の取得にかかる経費を補助します。

■防護柵設置事業

【対象者】①市内に住所がある個人または法人で、有害鳥獣による被害を受けている、または受ける恐れがある人②防護柵などを設置する農地が市内にある人

【補助内容】防護柵などを設置する経費の2分の1以内で5万円を上限に交付

【募集件数】7件

※すでに購入したものは対象になりません。申し込みが多い場合は先着順となりますので、早めにご相談ください。

■狩猟者確保対策事業

【対象者】市内に住所があり、

ねんきんだより

納付が困難な場合は 免除・猶予ができます

保険料を納め忘れたまま、障がいや死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

経済的な理由などで国民年金保険料の納付が困難な場合には「保険料免除制度」や「納付猶予制度(50歳未満)」がありますので、市役所各総合支所市民課国民年金窓口で手続き

きをしてください。令和元年度分(令和元年7月分から令和2年6月分まで)の免除などの受け付けは、7月1日からです。

※申請がさかのぼれる期間は、申請日の2年1カ月前の月分までです。未納期間がある場合は、ご相談ください

【問い合わせ】

- ▼ねんきんダイヤル ☎ 0570(05)1165
- ▼古川年金事務所 ☎ 0229(23)1200
- ▼市民生活部国民年金課(年金医療係) ☎ 0220(58)2166

振興係

☎ 0220(34)2713



経済センサス 基礎調査を実施

「経済センサス―基礎調査」では、調査員が全国の事業所

<p>人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい</p>	<p>株式会社 清建</p> <p>環境プロバイダ</p> <p>本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階 広告 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980</p> <p>南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
	<p>有限会社 清建物流</p> <p>TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535</p> <p>本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城</p> <p>TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495</p> <p>〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字下田中53番地8</p>

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

株式会社 **刺蒸くまがい** ...働く会社... 法事・宴会 広告

中田中学校通り **0220-34-5002**

葬儀からご法要までの一環システム

登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます)

24時間受付 **0220-34-4856** (代表)

株式会社 **誠香社**

6月の納税

市県民税・・・1期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限 / 7月1日(月)

登米市の人口・世帯数

(平成31年4月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計(前月比)
		男	女		
迫	7,607	9,951	10,476	20,427	(▲37)
登米	1,804	2,286	2,500	4,786	(▲16)
東和	2,350	3,082	3,195	6,277	(▲29)
中田	5,156	7,654	7,995	15,649	(44)
豊里	2,152	3,231	3,295	6,526	(▲7)
米山	2,822	4,454	4,594	9,048	(▲10)
石越	1,576	2,404	2,410	4,814	(▲13)
南方	2,715	4,207	4,379	8,586	(▲4)
津山	1,158	1,551	1,675	3,226	(▲6)
合計	27,340	38,820	40,519	79,339	(▲78)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(平成31年4月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H31	H30	増減数
人身事故発生件数	49件	53件	▲4件
死者数	2人	0人	2人
負傷者数	66人	67人	▲1人
物損事故発生件数	465件	608件	▲143件

※平成31年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

梅雨の時期は、スリップ事故や視界悪化による歩行者の脱落とし事故、追突事故が増加します。雨の日は、停止距離が伸びるため、車間距離を十分確保し、路面に見合った安全な速度で運転しましょう。

市内放射線の測定結果

測定日:令和元年5月1日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.04	雨
消防署北出張所(石越)	0.04	雨
消防署東出張所(東和)	0.04	雨
消防署津山出張所	0.04	雨
消防署南出張所(豊里)	0.04	雨
消防署西出張所(南方)	0.04	雨

空間放射線量の測定結果は市公式ホームページに掲載およびメール配信しています。

なくなった「病院に連れて行きたいけど、本人が行きたくない」と言っている「同じことを何度も繰り返し話すようになった」など、気になることや困っていることがあります。精神科医が相談に応じます。事前に予約が必要ですので、各地域包括支援センターまでご連絡ください。

【日時】6月28日(金)午後1時30分

【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)

【連絡先】
▼ 迫地域包括支援センター ☎ 0220(22)1152
▼ 中田・石越地域包括支援センター

- ▼ 石越分室 ☎ 0220(34)7611
 - ▼ 東和・登米地域包括支援センター ☎ 0220(53)4811
 - ▼ 登米分室 ☎ 0220(52)5090
 - ▼ 米山・南方地域包括支援センター ☎ 0220(29)5821
 - ▼ 南方分室 ☎ 0220(58)4311
 - ▼ 津山・豊里地域包括支援センター ☎ 0225(68)3780
 - ▼ 豊里分室 ☎ 0225(76)4811
- 【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(長寿社会係)

出張相談日程・場所

開催日	時間	場所
6/11(火)	10:00~16:00	石森ふれあいセンター
6/25(火)	10:00~16:00	豊里公民館
7/9(火)	10:00~16:00	米山公民館
7/23(火)	10:00~16:00	南方公民館

生活や仕事などの悩み相談に応じます

相談は無料で、秘密は守ります。

【問い合わせ】そ・えーる登米 ☎ 0220(23)8610 FAX 0220(23)8665

養育費や親権などの特別無料相談を実施

母子・父子家庭が抱える養育費や親権などの相談に弁護士が無料で応じます。

※事前に予約が必要です

【日時】8月20日(火)午後1時~2時

【場所】登米保健所(2階相談室)

【予約・問い合わせ】県東部保健福祉事務所登米地域事務所(母子・障害班) ☎ 0220(22)6118

障がい者の自立に向けて「つ」と相談を開設

【日時】6月25日(火)①午前9時30分~②午前11時~③午後1時30分~④午後3時~

【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所

※職業のあっせんではありませんのでご注意ください

【相談・申し込み・問い合わせ】▼ 障害者就業・生活支援センター「ゆい」 ☎ 0220(21)1011 FAX 0220(21)1012

▼ 福祉事務所生活福祉課(障害福祉係) ☎ 0220(58)5552 FAX 0220(58)2375

二次障害の予防を障害者検診を実施

体に障がいがある人を対象に運動機能(筋肉、関節の動きなど)の検診を実施します。

二次障害を予防するため身体状況をチェックできます。

【実施日】6月5日(水)(要予約) 先着5人

【場所】登米合同庁舎

【対象】身体障害者手帳(肢体不自由)を所持する18歳以上の

※その他、要件がありますので、詳しくは問い合わせください

【費用】無料

【申込期限】5月29日(水)

【申し込み・問い合わせ】県リハビリテーション支援センター

佐沼警察署管内で、息子を名乗る者から「同級会のはがきが届いていないか」「風邪をひいているので声が分らないかな」などと、複数の家庭にオレオレ詐欺と思われる不審な電話がかかっています。

被害防止のために「一度電話を切り、息子(娘)に電話をしたか確認する」「不審な電話だと思ったら、家族や知人などに相談をする」「ナンバーディスプレイ表示のある電話に替える」「家族のみが知っている合言葉を作る」などの対応をお願いします。

不審な電話があった際は、自分や家族構成などの情報は絶対に言わず、最寄りの警察署、交番または駐在所に通報

【日時】6月8日(土)午前9時~午後5時、6月9日(日)午前9時~午後4時

【場所】石越公民館(多目的ホール)

【内容】さつき・盆栽・山野草などの展示、相談コーナー

【問い合わせ】石越コミュニティ運営協議会 ☎ 0228(34)2036

第15回 神楽共演石越大会

【日時】6月9日(日)午前9時30分

【場所】石越体育センター

【入場料】前売り千円、当日1200円

【問い合わせ】第15回神楽共演石越大会実行委員会(担当) ☎ 0220(58)5551

【日時】6月3日(月)午前10時~午後3時

【会場】東和総合支所、米山総合支所、津山老人福祉センター

【相談・問い合わせ】▼ 仙台法務局登米支局(総務係) ☎ 0220(52)2070

▼ みんなの権利110番 ☎ 0570(003)110

もの忘れ相談 精神科医が応じます

高齢者で「最近物忘れが多

2019年工業統計調査を実施します

○工業統計調査はわが国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。

○調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用されます。

○調査時点は6月1日です。

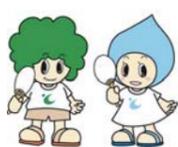
○調査票へのご回答をお願いします。

経済産業省・宮城県・登米市

5月20日~9月30日はクールビズ

市役所では地球温暖化対策の一環として、5月20日から9月30日までをクールビズ期間としています。

期間中、職員はノーネクタイ・上着なしで勤務していますので、皆さんのご理解をお願いします。



オレオレ詐欺の電話が連続発生中

振り込め詐欺「来たら確かめの子や孫に」



【通報・相談先】▼ 110番通報 ▼ 佐沼警察署 ☎ 0220(22)2121 ▼ 登米警察署 ☎ 0220(52)2121

第26回花季展

催し

【日時】6月8日(土)午前9時~午後5時、6月9日(日)午前9時~午後4時

【場所】石越公民館(多目的ホール)

【内容】さつき・盆栽・山野草などの展示、相談コーナー

【問い合わせ】石越コミュニティ運営協議会 ☎ 0228(34)2036

相談

あなたの人権を守ります

特設相談所を開設

【日時】6月3日(月)午前10時~午後3時

【会場】東和総合支所、米山総合支所、津山老人福祉センター

【相談・問い合わせ】▼ 仙台法務局登米支局(総務係) ☎ 0220(52)2070

▼ みんなの権利110番 ☎ 0570(003)110



千葉 ☎ 080(5226)7894

ときめき人

Tokimeki bito



令和とともに歩む 町の小さな演芸場 植正踊楽館

うえししょうようらくかん

中田町・森六荒谷

植正 まさとしさん

うえししょう・まさとし
(本名 佐藤 正利さん)
1954年生まれ 血液型/A B型



Profile

造園業を営む傍ら、2008年54歳の時、本格的に舞踊を習い始める。60歳で「舞踊一座 植正一家 初代 植正 まさとし」として旗揚げ。18年「町の小さな演芸場 植正踊楽館」が完成。演芸場は、毎月イベントを開催するほか、地域行事などにも貸し出し可。詳しくは、☎090(6788)4501まで。

「ここでは、みんなで造りあげた演芸場。地域の人はもちろん演芸愛好家も気軽に訪れ、みんなが楽しめる交流の場にしたい」と笑顔で話す舞踊一座 植正一家初代植正まさとしさん。

仕事が軌道に乗り、子どもも手を離れた50過ぎ、昔からやりたいと思っていた股旅舞踊とマドロス舞踊を習うために弟子入り。5年の修行を経て舞踊家として旗揚げした。

演芸活動で地域の人たちを楽しませたいと考えていたとき、石森蓬田地区で30年ほど前に使っていた組み立て式の舞台を寄贈された。最初は舞台しかなかったが、よりよい環境で観覧できるようにと、知り合いがサッシや使わなくなった戸を持ってきてくれて、徐々に演芸場へ。昨年11月に

完成し、3月には「第1回植正杯股旅一般舞踊宮城登米大会」を開催した。

「芸を持っている人は、披露する場が欲しいと思っています。ここでは、誰もが芸を披露できる場であり、お客さんとの距離が近い分、踊り手とお客さんが一体になれる」と演芸場の魅力を話す。

自身の活動は演芸場を飛び出し、敬老会の余興を頼まれたり、地域のお祭りを盛り上げるためボランティアで舞踊を披露したりしている。

「お客さんだけでなく踊り手も含め、みんなが楽しめる舞台を目指しています。楽しんでくれる人がいるうちは続けていきたいですね」。令和の時代とともに幕を開けた町の小さな演芸場の舞台には、みんなを楽しませる植正さんがいる。

編集後記

▼一期一会。その言葉には「その一度が素敵な経験であったとき」や「出会い一つ一つを大事にする」という意味が込められています。この仕事は、多くの人との出会いがあり、今回も私にとって忘れることのできない出会いがありました。これからも一期一会を大切にしていきます。(高橋)

▼今年のゴールデンウィークは10連休。こんなに休むと心配されるのは、五月病です。新たな環境に適應するための疲れや人間関係のストレスを感じ始める時期で、無気力や食欲不振といった症状が出るそうです。適度な休息・ストレス解消で体調管理に気を付けたいものです。(小野寺)

▼元号が令和になり、今回発行の6月号が新元号での初発行号になります。昭和最後の年に生まれた私は、平成と同じく年を重ねてきました。元号は変わりましたが、今まで通り学ぶ気持ちを刻んでいきたいと思えます。(三浦)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>

